



最優秀賞受賞にあたって

山形県南陽市立梨郷小学校 よどの 淀野 ひでき 秀樹

山形県南陽市立梨郷小学校の淀野と申します。この度は「第32回東書教育賞最優秀賞」という歴史あるすばらしい賞をいただき、驚きながらもとてもうれしく感じています。また、このような受賞スピーチの機会を賜り、身に余る榮譽であると感謝をしています。まずはじめに、この賞の主催者である東京書籍株式会社ならびに中央教育研究所の皆さまに感謝を申し上げたいと思います。そして、ともに取り組んできた先生方とパートナーの皆さま、「のびのびファーム」の子どもたちに心から感謝をし、この度の受賞の喜びをともに分かち合いたいと思っています。

私の勤務する南陽市立梨郷小学校は、山形県南部、梨郷地区461世帯、1600名余りの小さな地域にあります。4年前に新任校長として赴任した際に校長室の片隅に飾ってあった1枚の白菜の種のポスターがきっかけとなり、数年後に白菜2000株を植えることになるとは全く思いもありませんでした。そのポスターに導かれるように朝市で子どもたちとともに「もっと違う野菜を育てて朝市で売ってみたい」、「隣の村へ、市外へ、おいしい野菜を届けたい」、そんな気持ちがどんどんと広がっていき大きな活動となりました。それからというもの、子どもたちの笑顔と元気に誘われて多くの人たちがニコニコしながら協力してくださるようになりました。「被災地の人たちに食べてほしい」、「おいしい梨郷の野菜と元気と笑顔を届けたい」という目標

にもなっていました。

教育とは、地道な取り組みを連続し、さらに、それを繰り返していくことであります。だからこそ、少しでも多くの方々に理解していただけるような教育実践を、覚悟を持って推進していかなければなりません。それが地方創成の鍵になると考えています。

一昨日、子どもたちがこの表彰式のために短いメッセージをつくってくれました。披露させていただきたいと思っています。

「校長先生から東書教育賞最優秀賞受賞のお話をお聞きし、とてもうれしい気持ちでいっぱいです。のびのびファームでは、被災地との交流の他にも災害に遭われた地域への義援金なども送っています。このような活動を通して、元気と笑顔を発信し、『ありがとう、助かったよ』とさせていただくことで、私たちも元気になれることを知りました。これからもこのような活動を続けていき、多くの方々に笑顔になっていただけるよう頑張っていきたいと思っています。この度は本当にありがとうございます。」

最後に、本日、共に東書教育賞を受けられた方々をはじめとし、日々の教育活動に全身全霊を惜しみなく捧げていらっしゃる多くの皆さま方に敬意を表するとともに、より一層の精進と研究にまい進することをお誓い申し上げ、受賞の御礼に代えさせていただきます。本日は、誠にありがとうございました。